

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども療育研究室 Luluきくち2nd (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	R8年 2月10日		～ R8年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	R8年 2月10日		～ R8年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	セラピストや保育士等の多職種での支援	セラピストや保育士等と一緒に活動を行うことで、様々な支援を提供している	専門職がその専門性にあった活動を主に提供していく
2	セラピストによる専門的支援へ向けた評価、アセスメントの実施。	セラピストが必要な評価を行い、ご利用児童一人ひとりの発達段階に合わせた課題の提供を行っている。	保育士、児童指導員と共に情報共有を行ないながら、利用児童一人ひとりの発達段階や特性を活かした支援をより強化します。
3	小集団での保育士による児童に寄り添った支援	小集団での保育士支援のもと、まずは小集団化の集団適応への支援が行なえる。児童の精神的な崩れや不穏に対し、寄り添った支援・児童主体の支援を提供している	支援方法などの多職種での共有を行いより連携を図る事で支援の質の担保を行ないます。
	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域、家族支援	地域、家族含めた活動の実施がまだ充実していない	今後は家族、地域へ向けた事業所の特色の発信を行い、家族、地域を含めた活動や家族同士での繋がりを作れる機会を検討していく。
2	テナント内での事業所運営の為、構造化した支援を行うことに 対しての環境調整の限界がある。	パーティションを使い可能な範囲での構造化を図っている。	今後も環境調整を行いながら構造化を図り支援を強化していく。
3			
3			